

**製品名: CD276 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08323**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	100kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD276
別名	CD276; B7H3; PSEC0249; CD276 antigen; 4lg-B7-H3; B7 homolog 3; B7-H3; Costimulatory molecule; CD276
遺伝子 ID	80381.0
SwissProt ID	Q5ZPR3
免疫原	抗血清はヒト CD276 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

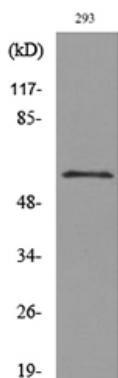
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は免疫グロブリンスーパーファミリーに属し、T細胞を介した免疫応答の調節に関与していると考えられています。研究によると、この遺伝子の転写産物は正常組織および固形腫瘍に普遍的に発現していますが、タンパク質は腫瘍組織でのみ優先的に発現しています。さらに、この転写産物の3' UTRにはmiR29マイクロRNAの標的部位が含まれており、このタンパク質の発現とmiR29レベルの間に逆相関があることが観察されており、miR29によってこの遺伝子産物の発現が調節されていることを示唆しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq提供、2011年9月]、機能: T細胞を介した免疫応答の調節に関与している可能性があります。ナチュラルキラーによる細胞溶解を阻害することで腫瘍細胞を保護する役割を果たす可能性があるほか、神経芽細胞腫細胞の検出マーカーとしての役割を果たす可能性があります。急性および慢性の移植拒絶反応の発生、および粘膜表面でのリンパ球活動の調節に関与している可能性があります。また、妊娠期間を通じて胎盤と胎児に適切な免疫環境を提供する上で重要な役割を果たす可能性があります。アイソフォーム1とアイソフォーム2はどちらも、CD4 T細胞応答を調整する能力において重複しているようです。アイソフォーム2は、細胞傷害性T細胞の誘導を促進し、T細胞受容体シグナル伝達の存在下でインターフェロンガンマの産生を選択的に刺激することが示されている。誘導:単球ではLPSによって、Tリンパ球とBリンパ球ではイオノマイシンによって誘導されます。ヒト移植片の拒絶反応を媒介する細胞でアップレギュレーションされます。、その他:B7-H3遺伝子座はゲノム重複を起こし、免疫グロブリン様のVドメインとCドメイン(VCドメイン)が縦列に繰り返されました。優勢に発現しているヒトB7-H3アイソフォームには、縦列に重複したVCドメインが含まれています。対照的に、マウスB7-H3転写産物は、Vドメイン-(擬似エクソンC)-(擬似エクソンV)-Cドメインに対応するエクソン構造のため、単一のVCドメイン形態のみを含みます。霊長類に現れるこの重複はごく最近に出現したと考えられており、ヒトおよびサル種におけるVCタンデムリピートの複数の独立した出現モデルを支持しています。、類似性:免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。BTN/MOGファミリー。、類似性:2つのIg様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを含みます。、類似性:2つのIg様V型(免疫グロブリン様)ドメインを含みます。、サブユニット:TREML2と相互作用し、この相互作用はT細胞の活性化を促進します。、組織特異性:末梢血リンパ球または顆粒球には普遍的に存在しますが、検出されません。休止期単球では弱く発現しています。単球由来の樹状細胞に発現する。副鼻腔組織の上皮細胞に発現する。妊娠第1期胎盤および満期胎盤の絨毛外栄養芽細胞およびホフバウアー細胞に発現する。

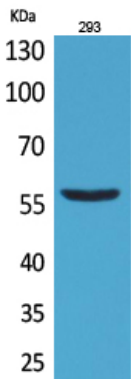
## 研究分野

細胞接着分子 (CAM)

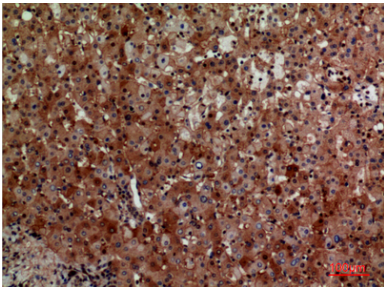
## 画像データ



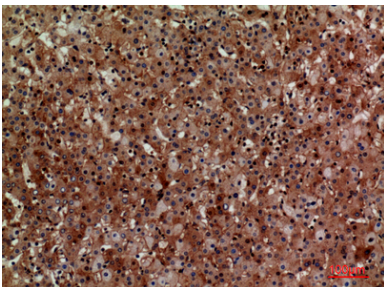
CD276抗体を使用した293細胞溶解液のウエスタンブロット分析。



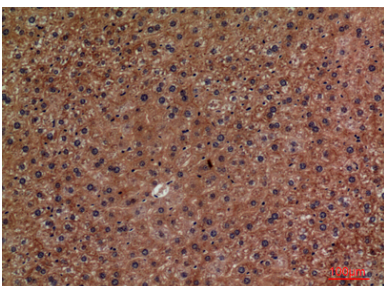
CD276 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



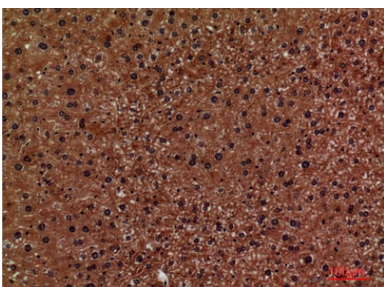
パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された